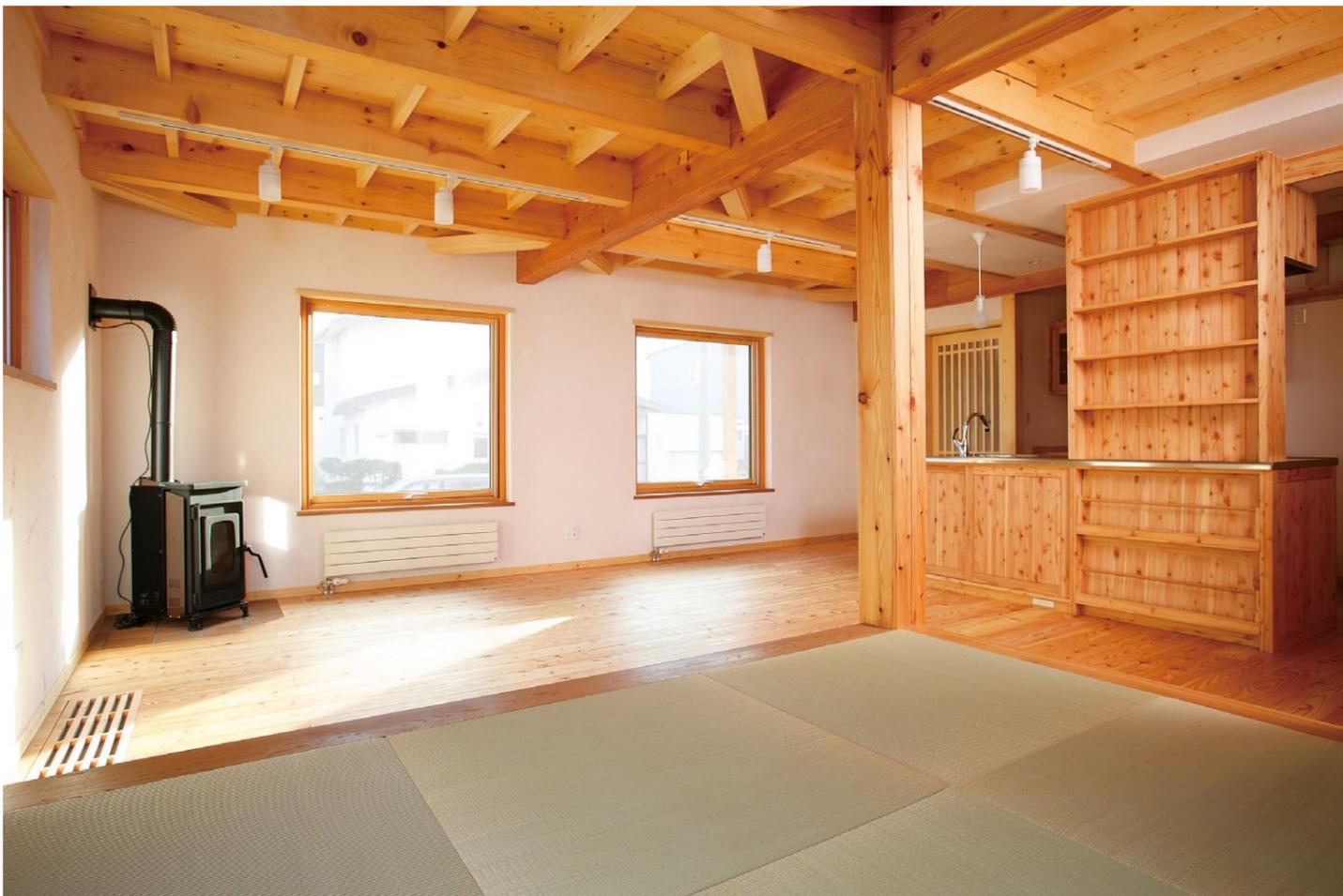




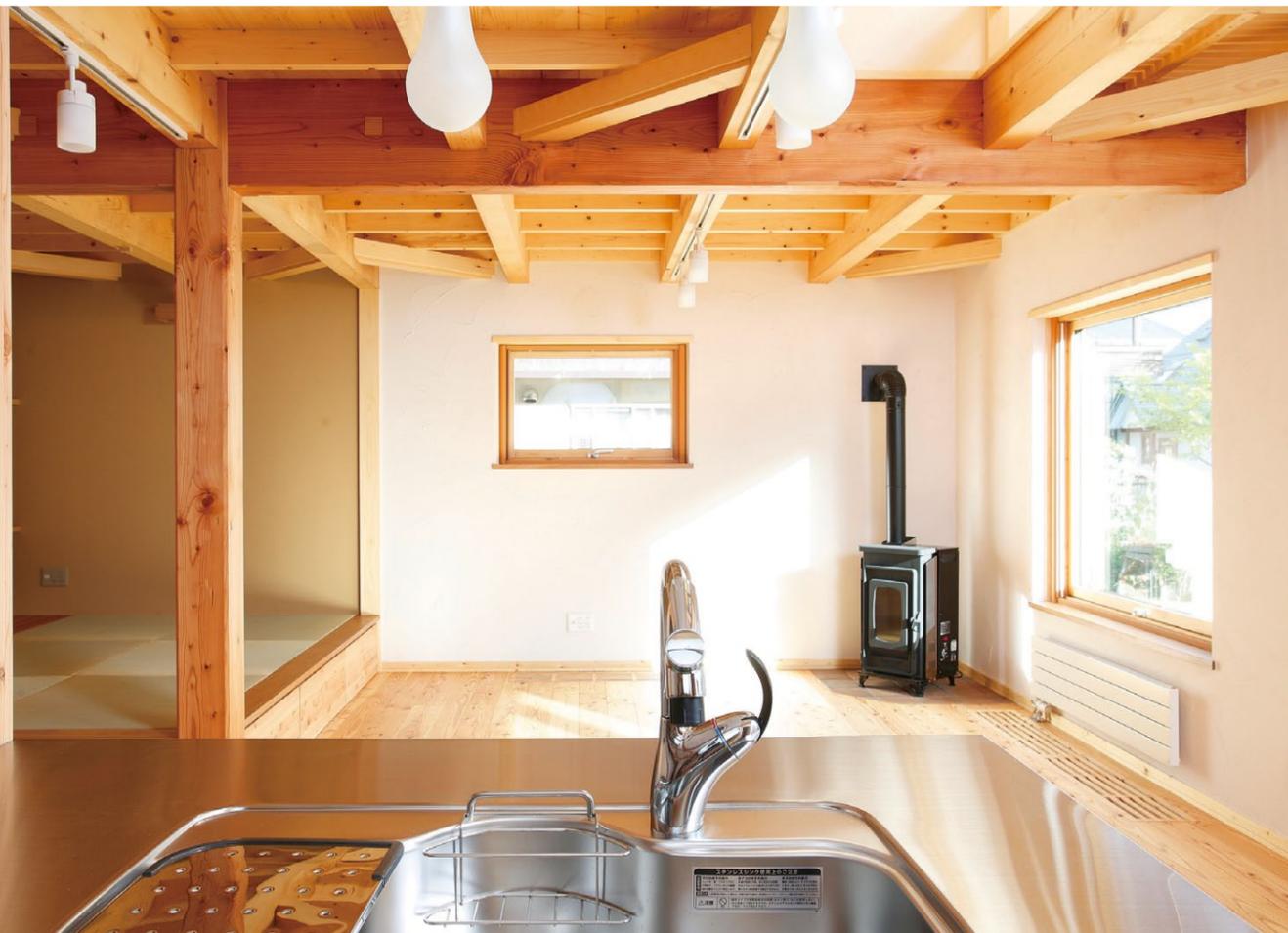
北海道の自然の恵みを生かした暮らし

ライフスタイルに合わせて ペレットストーブを選択

北海道札幌市・M邸 家族構成／夫婦30代
設計・施工／(有)ピオプラス西條デザイン



北海道産カラマツの構造材や造作家具と、噴火湾産のホタテ貝殻入り珪藻土の塗り壁で囲まれたナチュラルな空間



窓からの景色や家族との会話も楽しめる対面式のオープンキッチン。ペレットストーブの炎を見ながら家事ができる

- 北海道札幌市・Mさん宅
- 構造規模/木造・2階建て
- 延床面積/110.14㎡(約33坪)
- 使用機種/さいかい産業「MT-311 SUMITA」
- ストーブ導入費用/約30万円(本体、施工費用含む・税込)

設計・施工/(有)ビオプラス西條デザイン
 TEL 011-774-8599
 本社:北海道札幌市北区百合が原4丁目8-1
 伊達支店:北海道伊達市舟岡町50-28
<http://www.saijo-d.com/>
 対応エリア:北海道

てコンパクトなペレットストーブを採用。本格的な冬が来るまではセントラル暖房を入れなくてもストーブだけで暖かいので正解でしたね」と奥さん。

以前暮らしていたマンションはファンヒーターの暖房で、部屋の中が乾燥している割には肌寒く感じられたのですが、ペレットストーブは自然な暖かさで体がぽかぽか温まる感じが心地よいと満悦です。

ストーブにさほど興味のなかったご主人も、今ではストーブの担当として火をつけたりお手入れにと活躍しているとか。北海道産の木や塗り壁に囲まれた住まいで北海道産の燃料を焚いて暖を取る、エコロジカルでナチュラルな暮らしを満喫しているMさんご夫妻です。

「薪ストーブをメイン暖房にと希望していましたが、薪の置き場に敷地のかなりの面積を取られること、主暖房にすると共働きの帰宅してから家の中が寒いと説明され、自分たちのイメージが漠然としていたことに気づかされました。そこで、ライフスタイルに合わせて補助暖房とし

ていたそうです。

「薪ストーブをメイン暖房にと希望していましたが、薪の置き場に敷地のかなりの面積を取られること、主暖房にすると共働きの帰宅してから家の中が寒いと説明され、自分たちのイメージが漠然としていたことに気づかされました。そこで、ライフスタイルに合わせて補助暖房とし

そろそろ家を持ちたいと考えたMさんご夫妻が家づくりでこだわったのは、自然素材の住まいであることでした。



右/リビングの吹き抜けの一部はスリットのキャットウォーク。暖かい空気が家中に対流するので洗濯物を乾かすのにびっぴりのスペースに左/落ち着いた色合いの木酢塗装のカラマツと白く塗られたスギの外壁のコントラストが個性的な外観



※写真提供/ビオプラス西條デザイン



右/LDK横の小上がりは下部が収納になっている左/ガス台の前の壁はお手入れが楽な珪藻土タイルで仕上げた。こだわりのキッチン

